

令和8年度〈前期〉学校評価

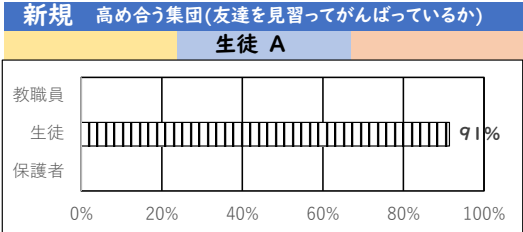
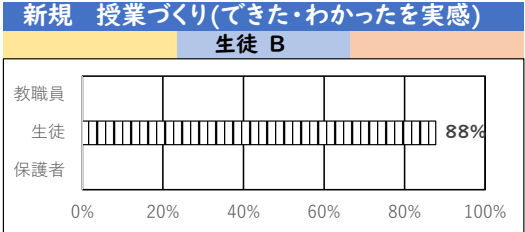
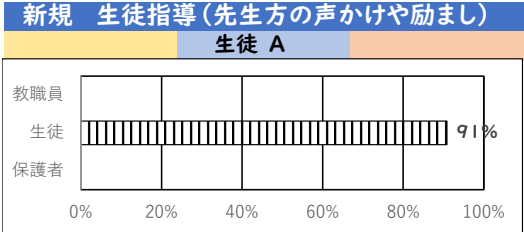
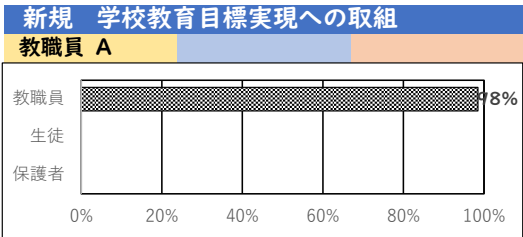
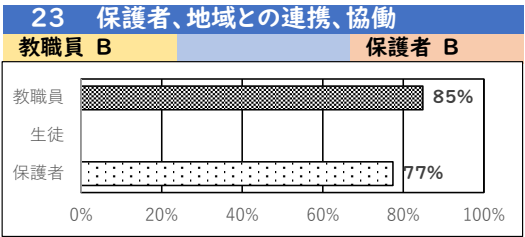
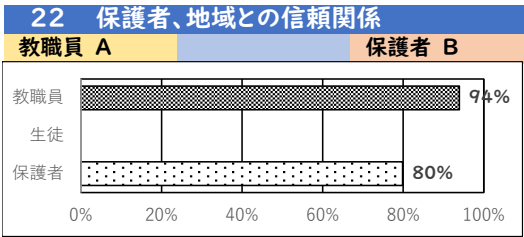
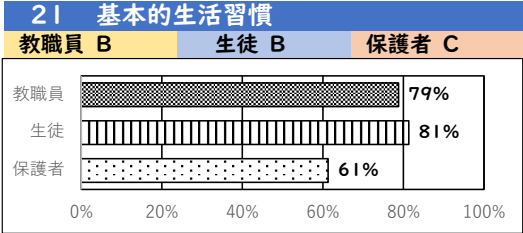
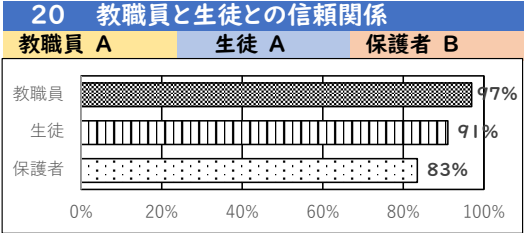
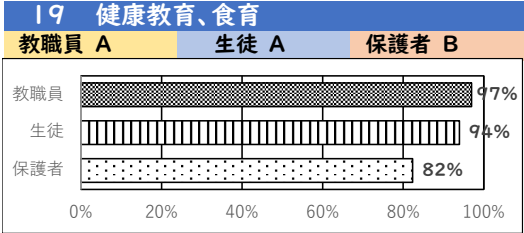
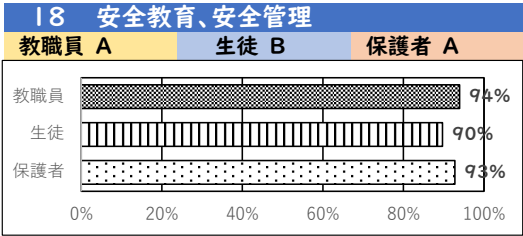
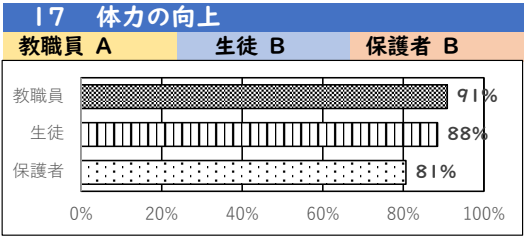
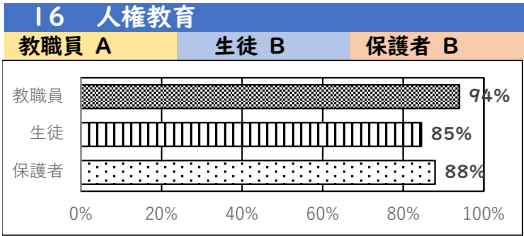
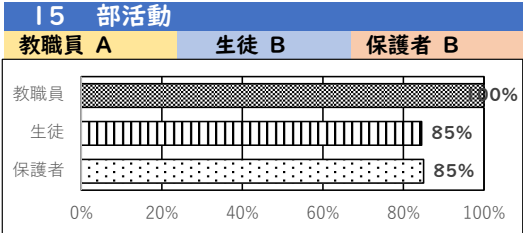
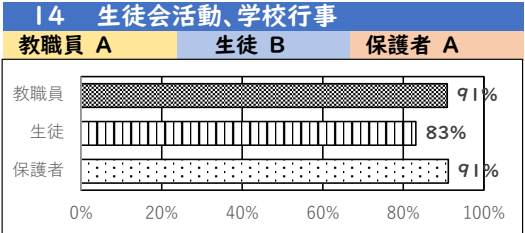
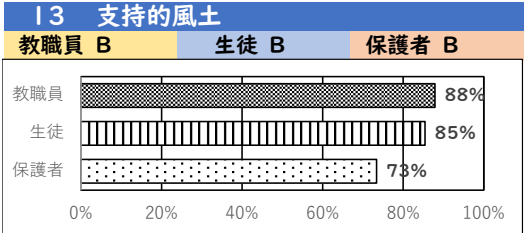
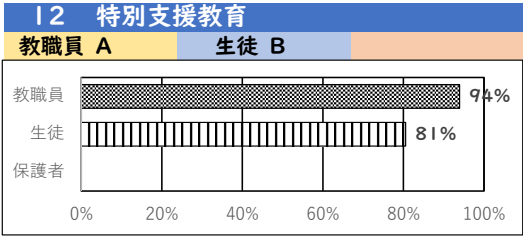
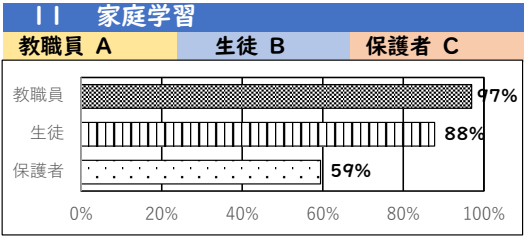
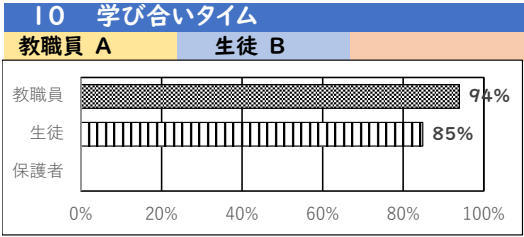
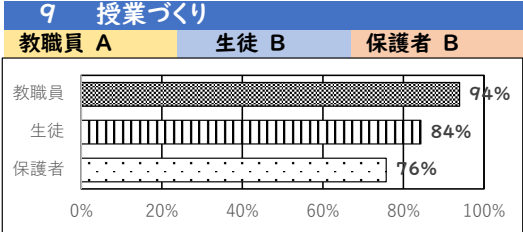
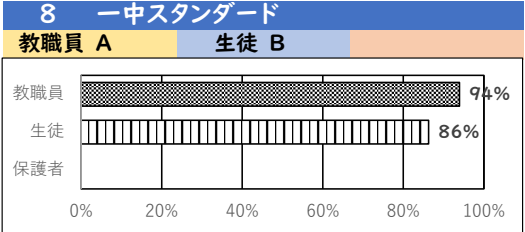
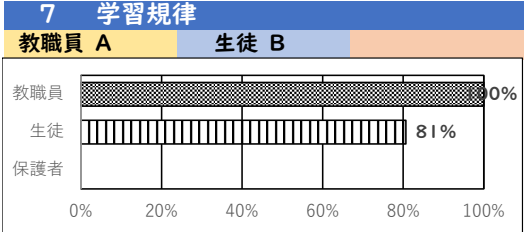
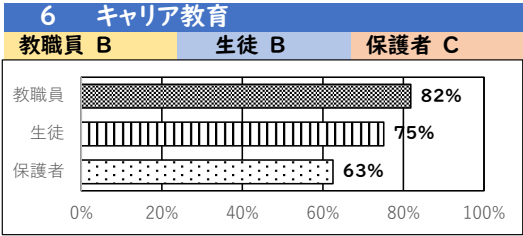
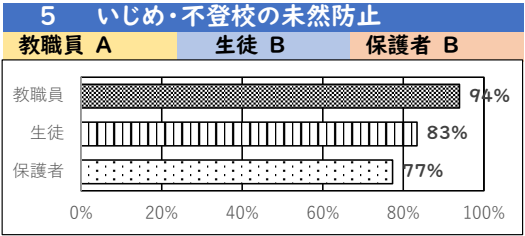
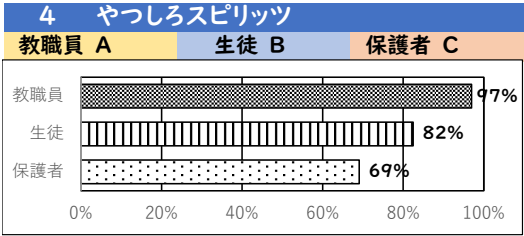
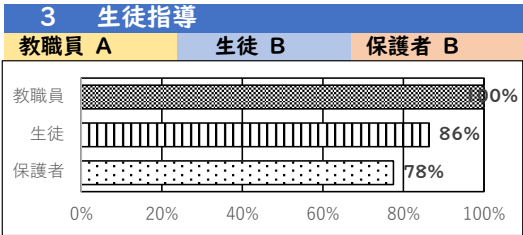
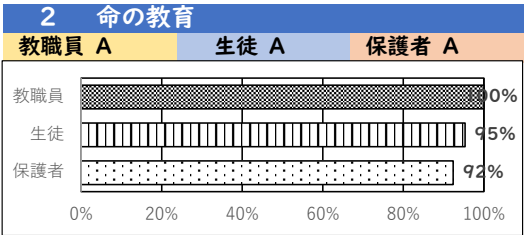
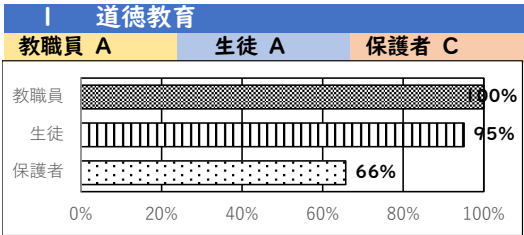
学校名

八代市立第一中学校

評価基準 4:そう思う 3:どちらかというと思う 2:どちらかというと思わない 1:そう思わない

達成率 4または3と回答した割合

評価 A:90%以上 B:70%以上90%未満 C:50%以上70%未満 D:50%未満



前期のまとめと後期に向けて

生徒の多くが比較的落ち着いた生活を送ることができている。アンケートの結果から、7学習規律や21基本的生活習慣が生徒の肯定率81%であり、自主・自律の面で、なお一層の取組ができると考える。また、教職員と生徒で肯定率に乖離がみられる項目があり、授業や学級経営等での取組や、生徒が自覚できるような教職員の働きかけや関係づくり等が必要である。また、評価が70%を下回る項目は5項目であった。いずれも保護者回答であり、学校に対する期待の表れと考え、生徒の成長を促すためにより一層家庭と連携・協力していく。

なお、今回保護者については安心安全メールでの回答を依頼したが、より多くの保護者に回答いただけるよう、周知方法を再考し、改善を図る。

【教職員と生徒で、特に乖離が見られた項目】

3 生徒指導、5 いじめ・不登校の未然防止→教職員の意識は高い。誰一人取り残さないよう、教職員間や家庭との連携を図っていく。

4 やつしろスピリッツ、7 学習規律→「習慣化」に向けた取組の徹底を、生徒会や家庭の協力を得ながら引き続き行っていく。

【70%未満の項目と対策】

1 道徳教育(保護者66%)→生徒の肯定率は高い。学級・学年での取組が保護者に伝わるよう、授業参観や学級通信等で発信していく。

4 やつしろスピリッツ(保護者69%)→挨拶・聞き方・そろえ方の大切さが、生徒にしっかり伝わるよう、引き続き学校と家庭で連携して取り組む。

6 キャリア教育(保護者63%)→教師、生徒も他の項目に比し、肯定率が低い。日々の教育活動の中で生徒、保護者に先を見据えた進路選択の大切さが伝わるよう、教育相談や三者相談の充実から取り組む。

11 家庭学習(保護者59%)→教師、生徒の肯定率は80%以上である。生徒がより積極的に家庭学習に取り組めるような工夫(授業と連動した課題、GoogleClassroomの活用等)と、保護者に生徒の頑張りが伝わるような働きかけを行っていく。

21 基本的生活習慣(保護者61%)→3点固定(起床・就寝・学習時間)について、学校と家庭で連携して、健康と自律力等を育んでいく。